



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本体の吊込みを行う場合は、本体の丁番カップが縦枠の丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。本体落下の原因となります。
- 丁番カップと本体との間にすき間がないことを確認してください。すき間があると本体落下の原因となります。
- 丁番座と縦枠の間にすき間がないことを確認してください。すき間があると本体落下の原因となります。

■取付け上のお願い

- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 運搬・加工の際は、傷つかないように取扱ってください。また、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- 造作材・建具枠の下地材および、かい木には、合板などの乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。
- 梁またはまぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱いので直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けてください。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締込んでください。ただし、たたき込まないようにしてください。保持力低下の原因になります。
- 各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
- 枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 枠はたおれ、傾き、タイコ、ツツミ、ねじれがないように取付けてください。
- 丁番は、最初に上部の丁番を取付け、上から順に取付けてください。また、本体を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取付けてからにしてください。
- 製品取付けの際の建具養生に表面シートにテープ(ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど)を直貼りしないでください。テープをはがす際、表面シートを傷めたり、テープの粘着剤が表面シートに付着したまま残ることがあります。

■本体保管上のお願い

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気の多い場所
 - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品


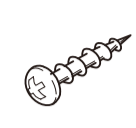
本 体	上 枠	ツバなし薄下枠	縦 枠	埋込下枠
別売り部品セット	部品セット	部品セット	縦枠(2本)	部品セット
丁番部品セット	取付け説明書			埋込下枠
把手セット				

※縦枠・上枠・下枠はそれぞれ別梱包になっています。

■丁番部品セット (別売り)

部品名称	丁番カップ	丁番座	丁番カップ・丁番座 取付け用 皿タップピンねじ φ4×16	保護材セット 8個入り
入数	8	8	32	1

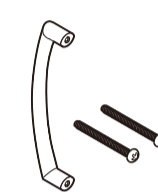
■下枠用部品セット(下枠同梱)

部品名称	組立て用 皿小ねじM4×50	下枠取付け用 なべタップピンねじ φ4×30
呼称		
ツバなし薄下枠	4	-
埋込下枠	-	3

■枠用部品セット (上枠同梱)

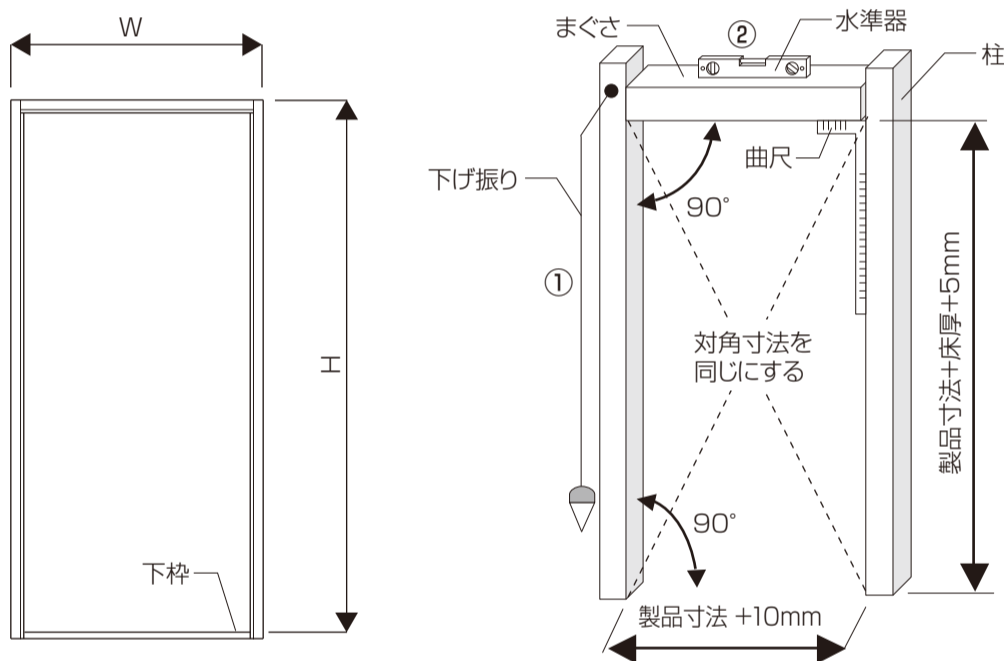
部品名称	組立て用 皿小ねじM4×50	上枠・縦枠取付け用 皿タップピンねじφ4×50 (頭部シート色塗装)	戸当り	戸当り取付け用 なべタップピンねじ φ3.5×16
入数	4	10	1	2

■把手セット(別売り)

部品名称	把手セット
呼称	
把手	1
取付けねじ	2

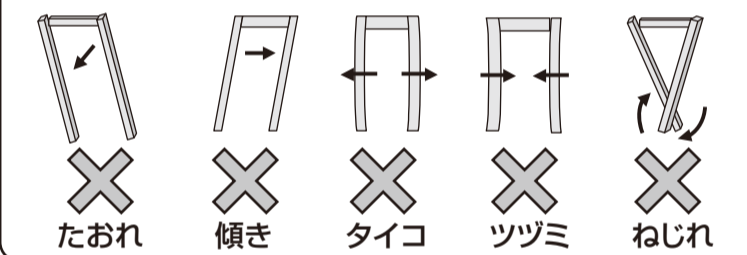
■開口部の作り方

●製品寸法



- ①下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。
- ②水準器・曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。

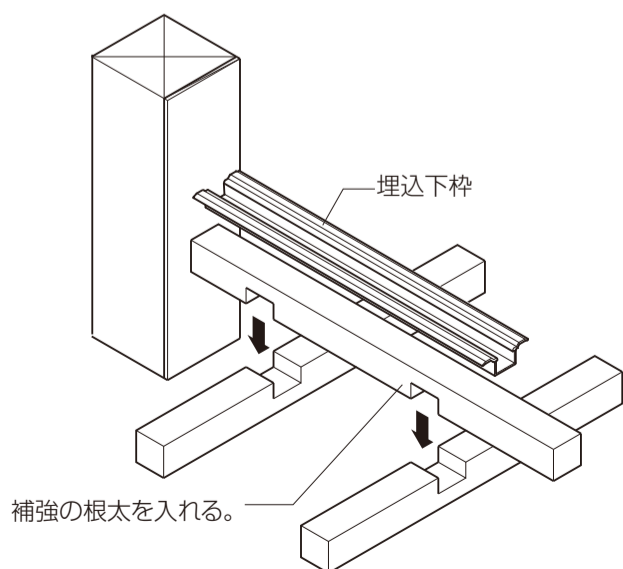
※柱、床、まぐさの水平・垂直がでていないと、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。



■床の張り方

1 下枠の確認

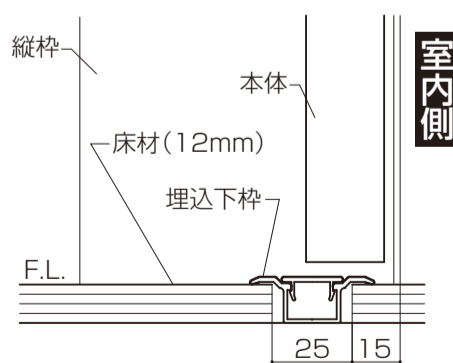
●枠材は捨て張り合板の上に施工するか、根太張り工法の場合は下図のように根太を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や本体開閉不具合の原因となります。



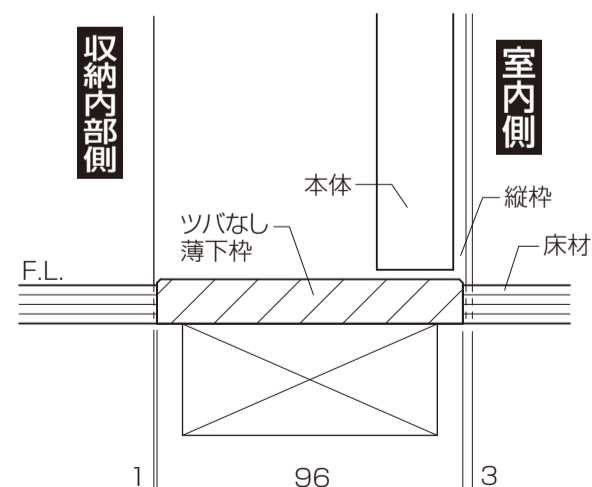
2 床張り位置 (床の張込み)

●床材間に埋込下枠が入りますので、縦枠の室内側木口から15mm内側の位置に25mmあけて、床材を張ってください。
※床材の開口寸法(25mm)が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込下枠が入りにくい原因となります。

〔埋込下枠を使用する場合〕



〔ツバなし薄下枠を使用する場合〕



取付け順序

1 枠の組立て

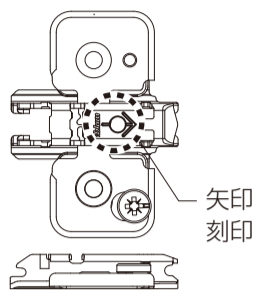
①縦枠に丁番座を取付けます。

丁番座の取付け向きを確認します。

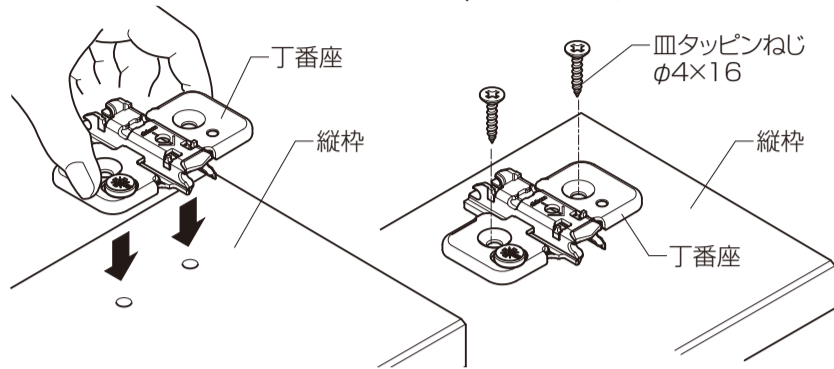
下穴に合わせて丁番座を置きます。

丁番座を縦枠に丁番カップ・丁番座取付け用皿タッピンねじφ4×16で固定します。

収納内部側



室内側



注意

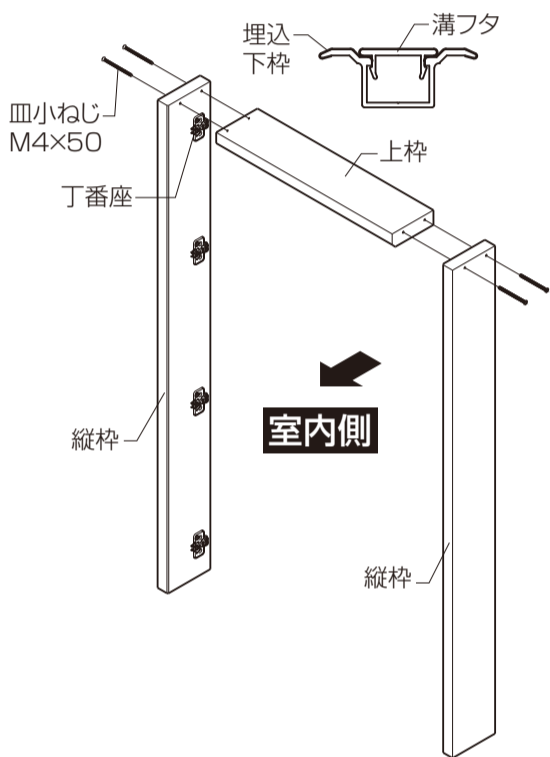
●丁番座と縦枠の間にすき間がないことを確認してください。すき間があると本体落下の原因となります。

お願い

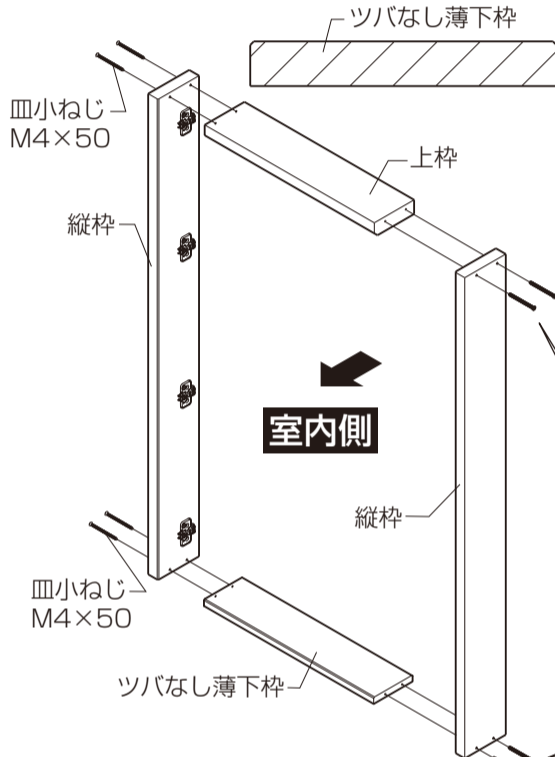
※丁番座を取付ける際は、丁番座の向きを確認してください。向きが違くと本体が吊込めません。

②下図のように各部材を組合せ、組立て用皿小ねじM4×50で固定します。

【埋込下枠を使用する場合】

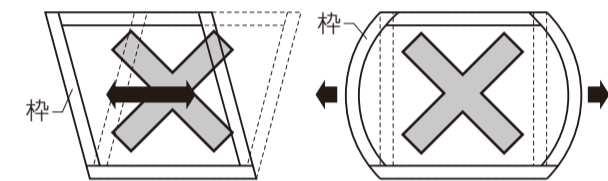


【ツバなし薄下枠を使用する場合】



枠組立て上のお願い

※ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
 ※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。
 ※枠組立て後、揺らす・引っ張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因となります。



●ねじ固定をする前に

一度、縦枠より上枠・ツバなし薄下枠へ組立て用皿小ねじM4×50を通し、穴位置が合っているか確認の上、ねじ固定をしてください。
 ※上枠とツバなし薄下枠では、組立て穴ピッチが異なります。

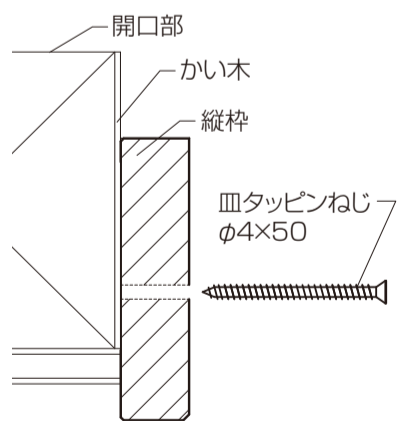
2 枠の取付け

●組立てた枠を、開口部に取付けます。

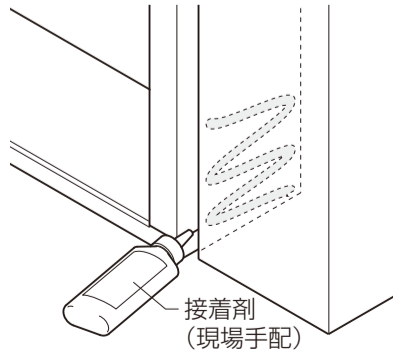
※上枠・縦枠取付け用皿タッピンねじφ4×50と同じピッチになるようにかい木を入れます。

※埋込下枠の場合は、枠固定前に埋込下枠の固定をしてください。

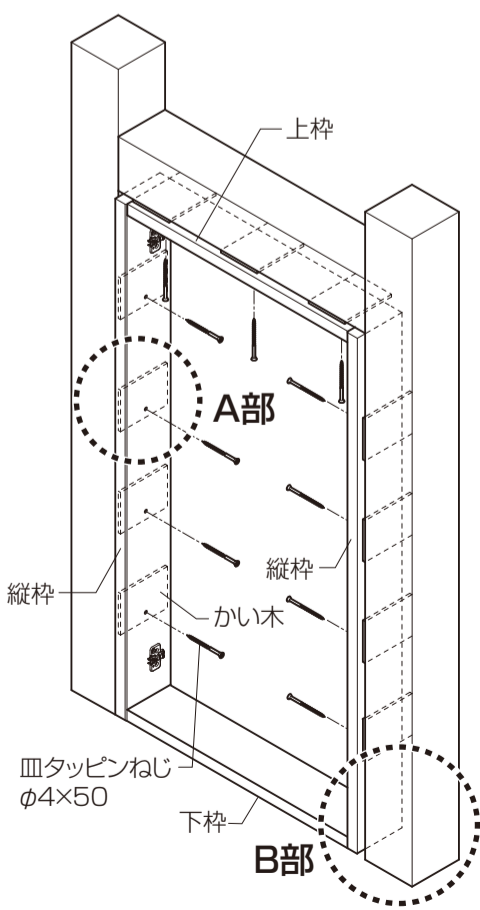
■A部詳細図



■B部詳細図(2023年5月～足伸ばし特注時)



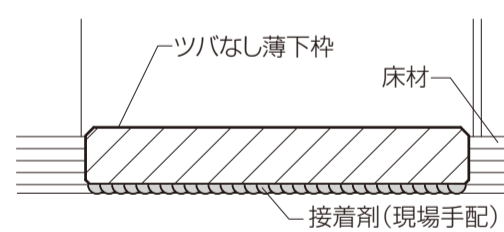
床上設置の場合は、枠下端を現場手配の接着剤などで躯体に固定してください。



【ツバなし薄下枠の場合】

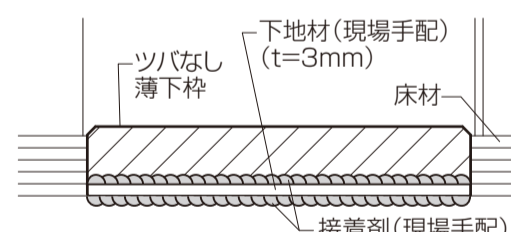
●床材厚さ 12mm

※必ずツバなし薄下枠に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



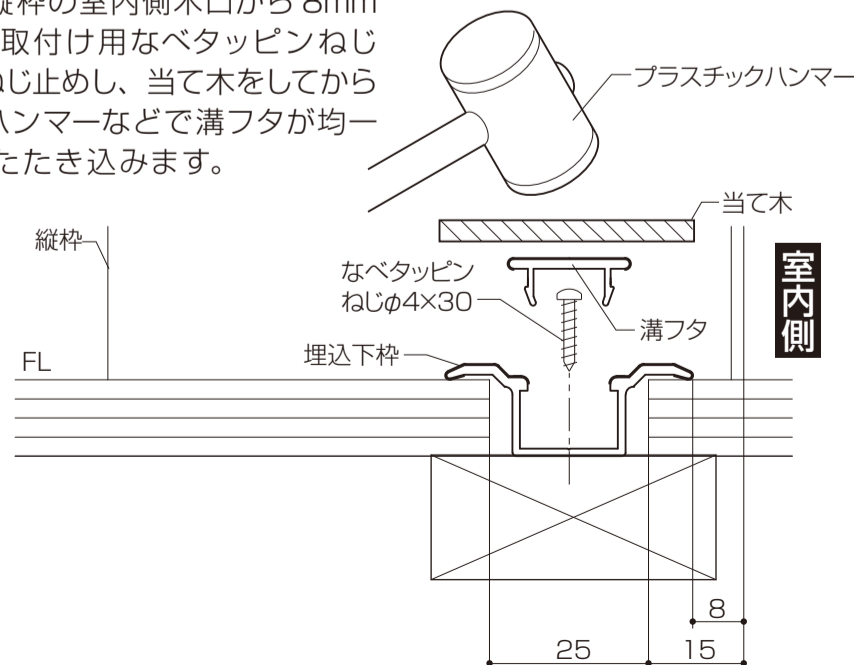
●床材厚さ 15mm

※必ずツバなし薄下枠と下地材(現場手配)に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



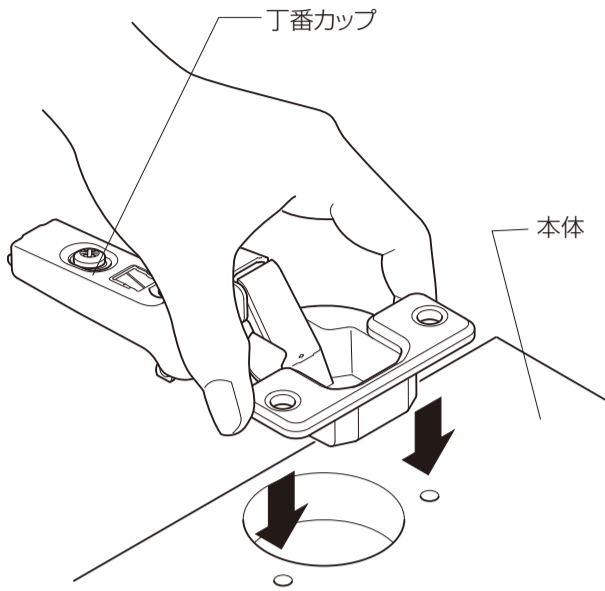
【埋込下枠の場合】

●埋込下枠を、縦枠の室内側木口から8mmの位置に下枠取付け用なべタッピンねじφ4×30でねじ止めし、当て木をしてからプラスチックハンマーなどで溝フタが均一になるようにたたき込みます。

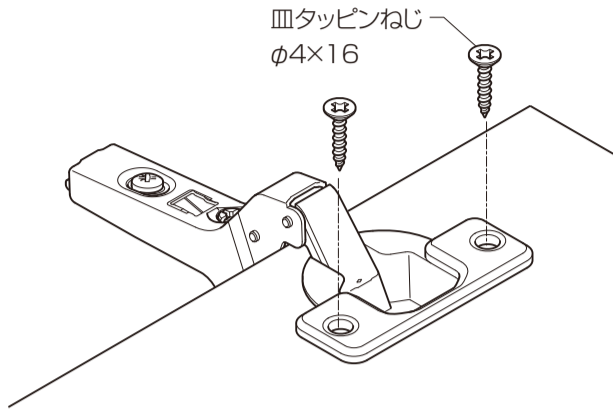


3 本体の吊込み

① 丁番カップを取付けます。

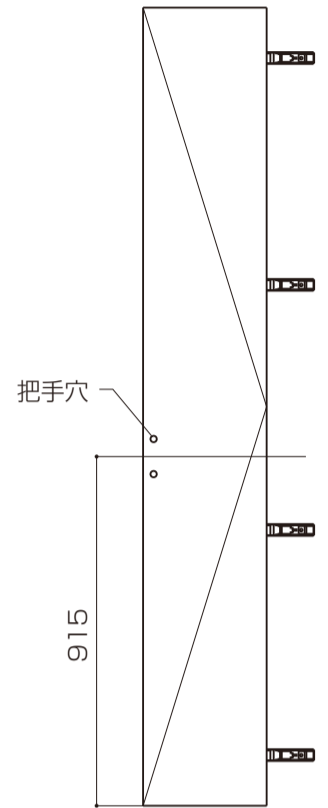


② 丁番カップを丁番カップ・丁番座取付け用皿タッピンねじφ4×16で固定します。



③ 本体の左右勝手の確認

● 本体の下端より上下把手穴中心までの寸法が、915mmになります。



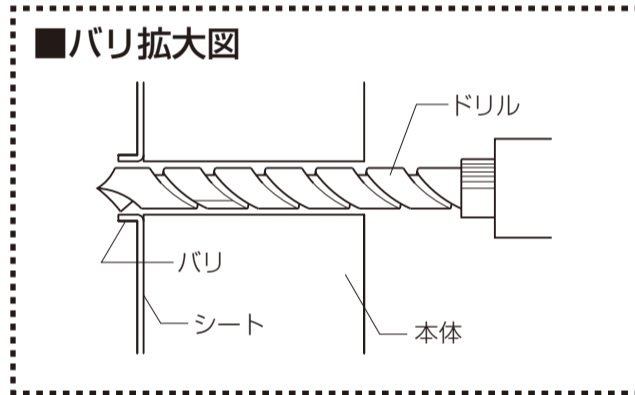
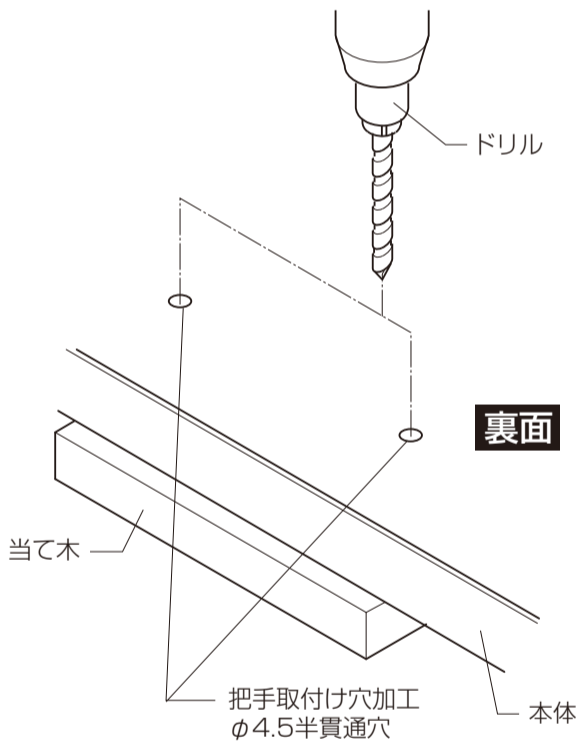
▲ 注意

● 丁番カップと本体との間にすき間がないことを確認してください。すき間があると本体落下の原因となります。

④ 把手を取付けます。

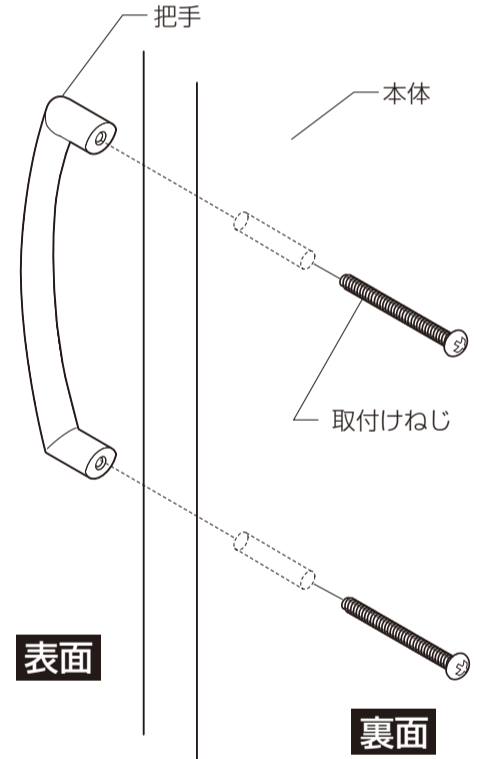
① 本体裏面に把手取付けの下穴が中間位置まであけてありますので下穴をφ4.5で貫通させてください。

② 把手を同梱のねじで取付けます。



お願い

※ 本体表面に当て木をしてください。当て木をしないで穴を開けると、シートがめくれる原因となります。

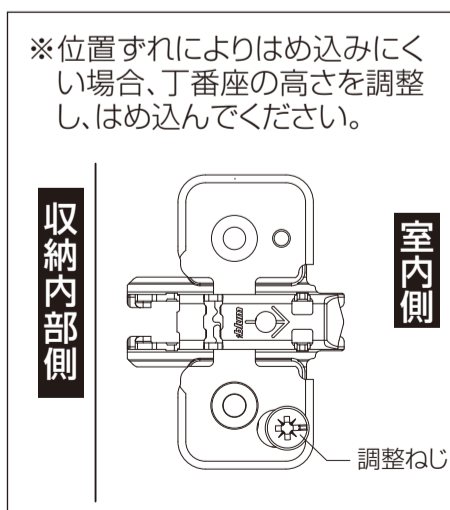
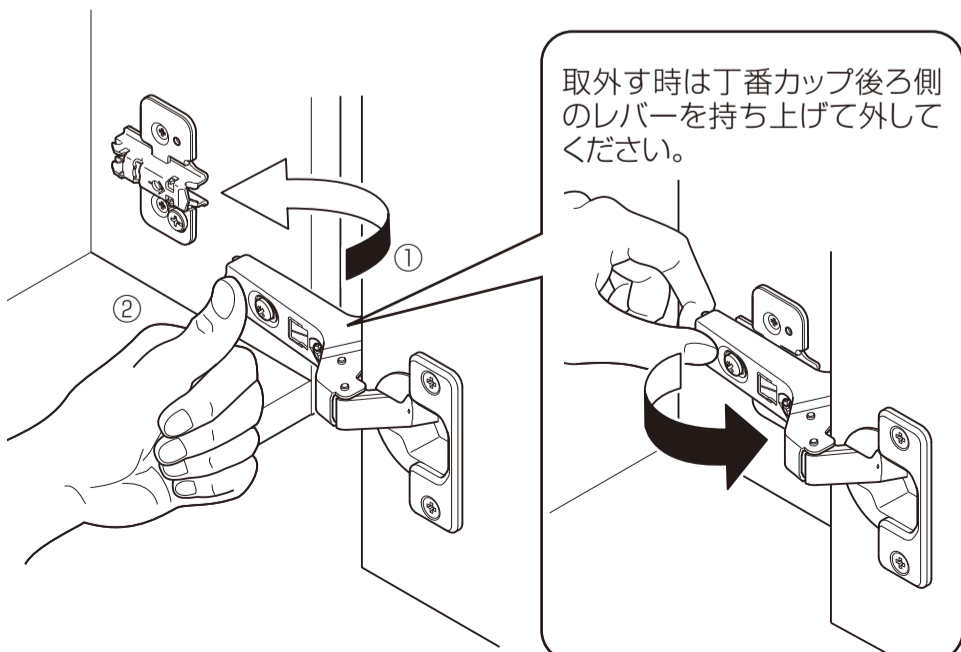


⑤ 本体を取付けます。

① 座の前面に丁番カップを引っ掛けます。

② 丁番カップの後ろ側を座にはめ込みます。

※ 本体の吊込み後、3回程度開閉を行い、丁番がゆるみ、ガタツキなく取付いていることを確認してください。



▲ 注意

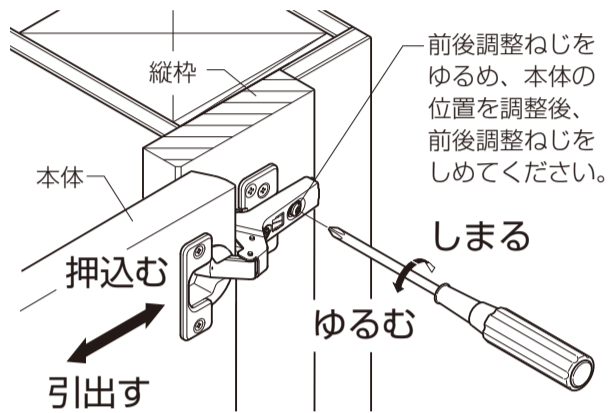
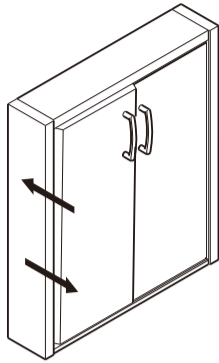
● 本体の吊込みを行う場合は、本体の丁番カップが縦枠の丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。本体の落下の原因となります。



4 建付け調整

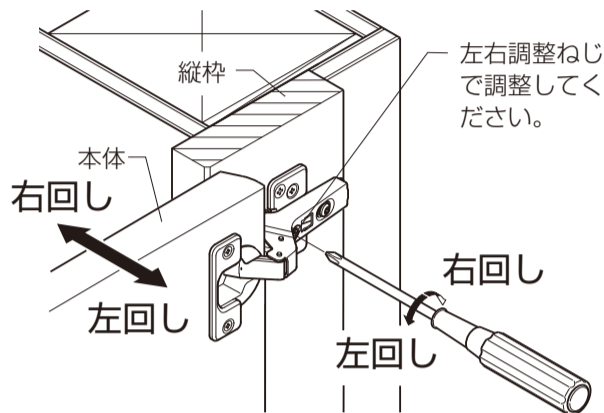
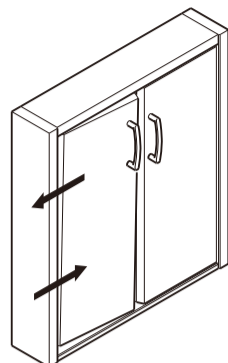
〔本体の前後調整〕

- 調整範囲
前方向3mm
後方向1mm
(合計4mm)



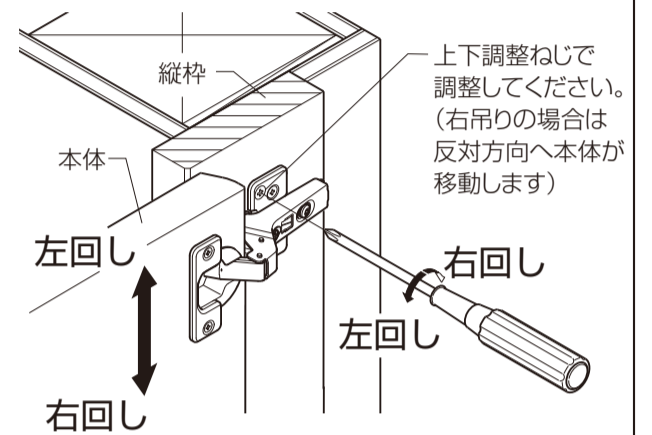
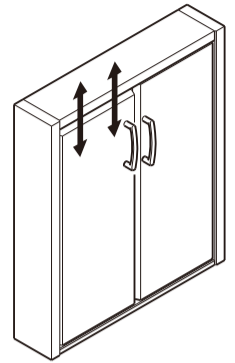
〔本体の左右調整〕

- 調整範囲
(合計±2mm)



〔本体の上下調整〕

- 調整範囲
(合計±2.0mm)



お願い

※調整範囲を超えてねじ込まないでください。調整ができなくなるおそれがあります。

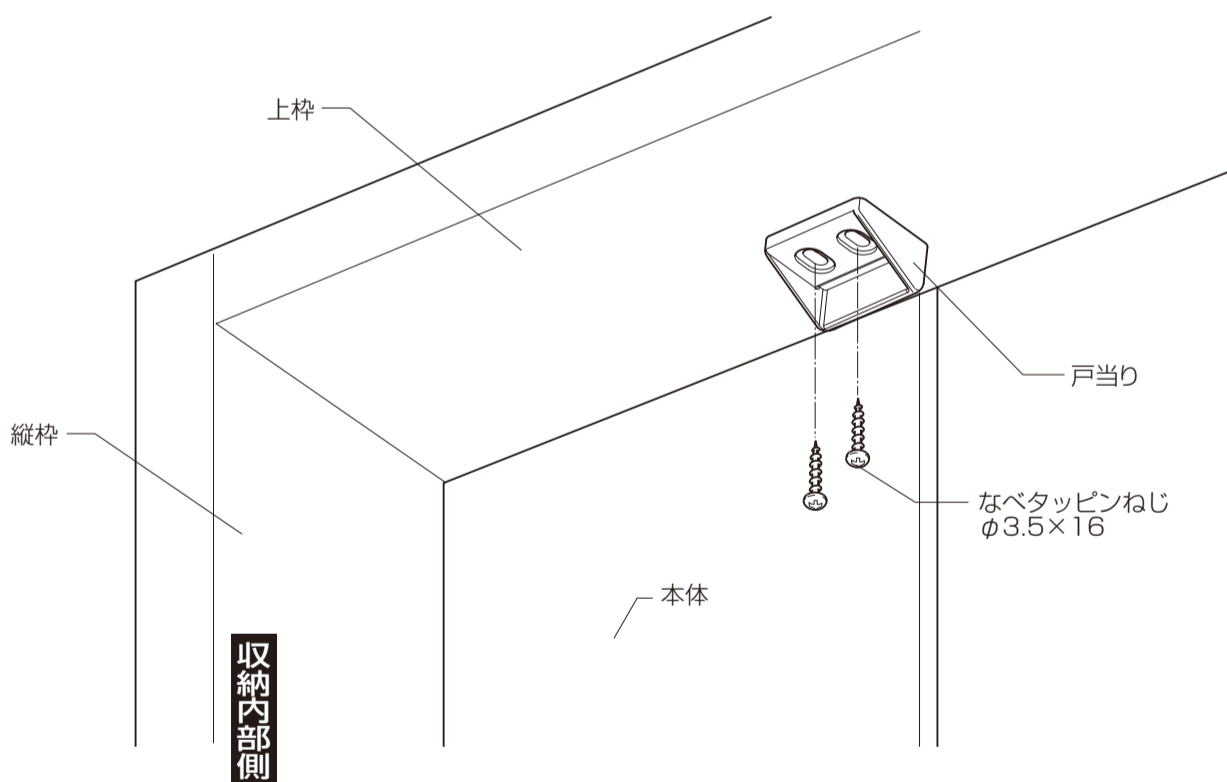
建付け調整手順
動画



973347945002

5 戸当りの取付け

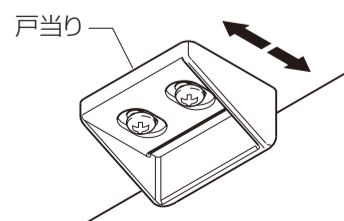
①本体を枠に吊込み、建付け調整を行なった後、戸当りを戸当たり取付け用なベタツピンねじφ3.5×16で固定します。



6 戸当りの調整

①本体の建付け調整を行なった後、本体を閉めて戸当りとあたっていることを確認してください。

※本体と戸当りがあたらない場合は、戸当たり取付けねじをゆるめ調整してください。(調整範囲：奥行き方向に3mm)

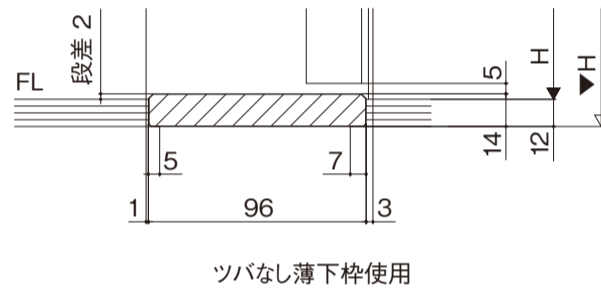
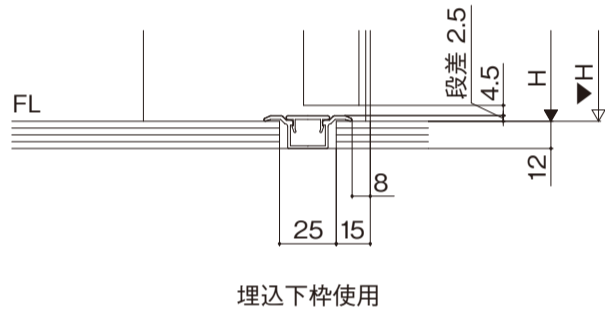
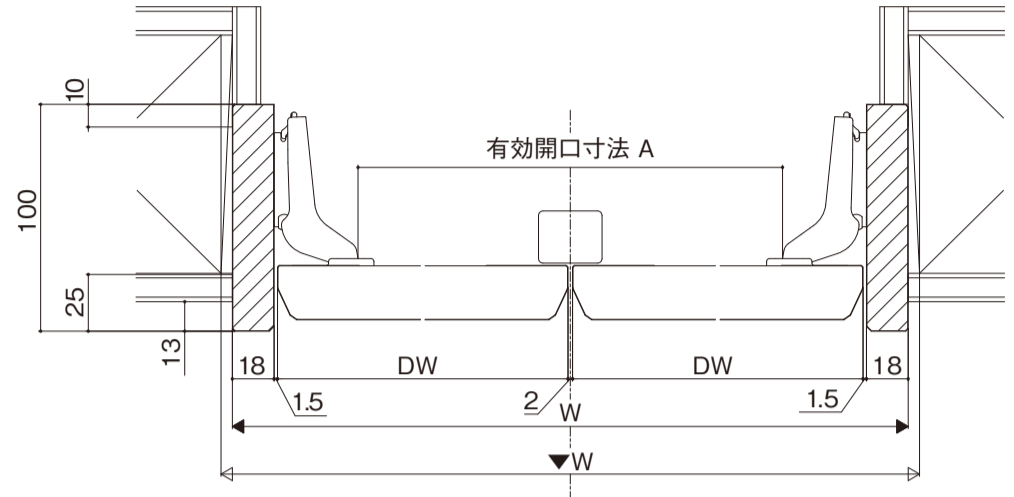
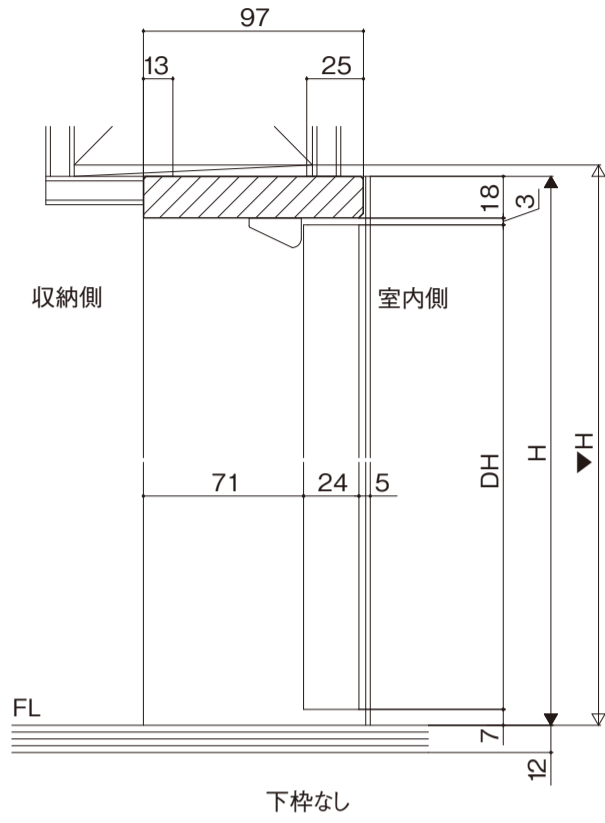


■納まり図

■クローゼットドア開き戸 ノンケーシングタイプ

●縦断面図

●横断面図



基本 寸法 (mm)	W 呼称	07	
	W	734	
	H 呼称	20	23
	H	2023	2306

W 呼称	W	A 寸法
07	734	624